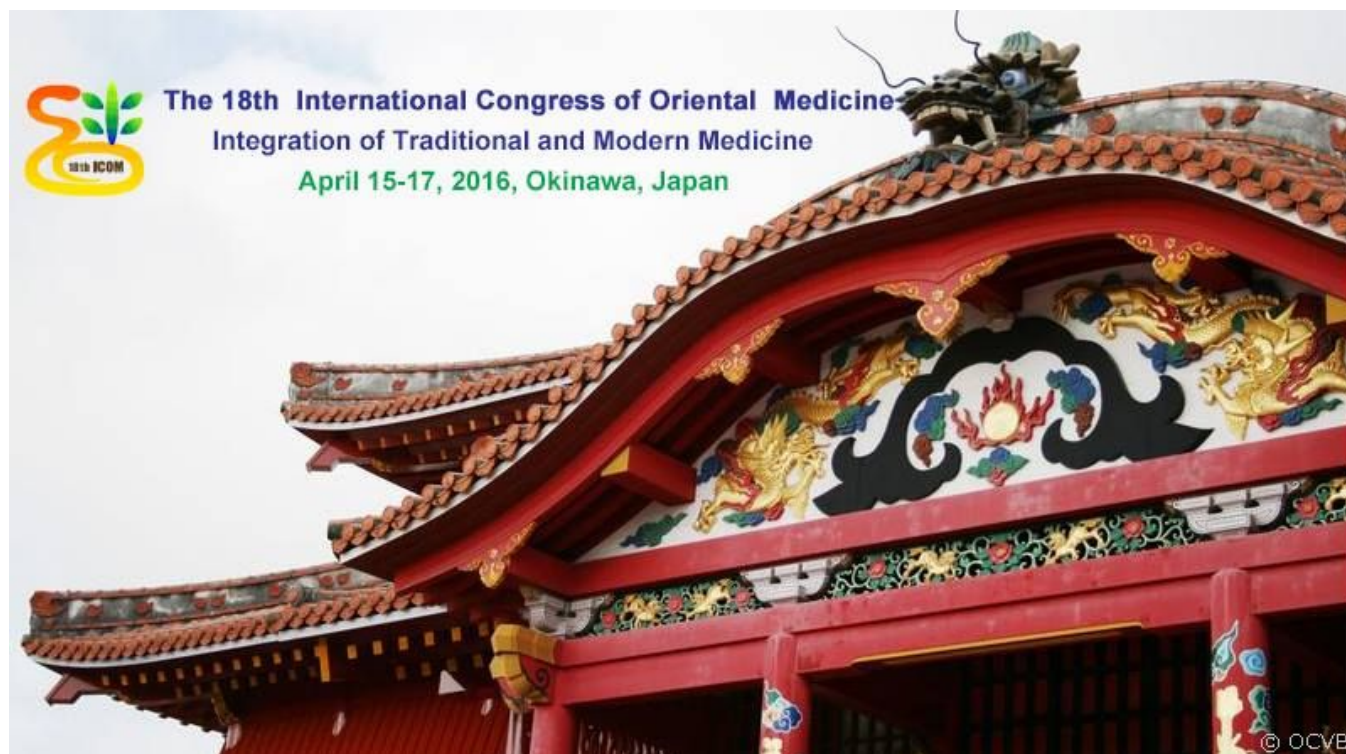


ISOM Japan NEWS Letter

本年 4月 15～17 日、第 18 回国際東洋医学会を沖縄で開催



第 18 回国際東洋医学会学術大会（18th ICOM）が、2016 年 4 月 15～17 日の 3 日間、沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて開催されます。

今回の 18th ICOM に先立ち、2015 年 10 月 3 日、名古屋市にて、第 29 回国際東洋医学会理事会が開かれました。日本からは中田 敬吾 理事長、安井 廣迪 日本支部長、牧野 利明 副事務総長、大野 修嗣 会頭・18th ICOM 会頭、宮崎 瑞明 理事、山下 仁 理事のほか、友利 寛文 18th ICOM 実行委員長、貝沼 茂三郎 18th ICOM プログラム委員長、元雄 良治 18th ICOM 日独漢方鍼灸シンポジウム実行委員長が参加し、18th ICOM のプログラムの概要と国際企画の提案が行われました。

今回の 18th ICOM は、6 年ぶりの日本での開催となり、会場を一大観光地である沖縄を選択して、現在、実行委員会一同、準備に務めているところです。2016 年 1 月現在で、235 演題の一般ポスター発表が、日本、韓国、台湾、香港、ロシアから集まりました。シンポジウム、招待講演、企画等もおおむね決定し、海外からのプログラムの追加を検討しているところです。プログラムは 1 月中にはウェブサイトから自由にダウンロード出来るようにする予定となっております。

参加登録は、1 月末までの登録が一般 30,000 円（懇親会費含む）、学生 5,000 円（懇親会なし）、それ以降が一般 35,000 円、学生 6,000 円（同）となっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第18回国際東洋医学会会頭、実行委員長挨拶

会頭メッセージ

敬愛する東洋医学に係わる皆様

ここに第18回国際東洋医学会学術大会（18th ICOM）の準備が整ったことをご報告できることは望外の喜びです。今回の学術大会開催にあたって、運営委員会諸氏には眼を見張る渾身の力を傾注していただきました。またこの大会が滞りなく順調に開催される運びとなったことは、40年以上に亘り International Society of Oriental Medicine (ISOM) の重責を担われ、育ててこられた先生方、並びに東洋医学に係わる広く世界の先生方の尽力の賜物と感謝いたします。

2014年、台湾での17th ICOMに引き続き今回は日本支部が担当することとなりましたが、国際東洋医学会日本支部のみならず日本東洋医学会、和漢医薬学会、全日本鍼灸学会、日本生薬学会などの後援を得て日本を挙げての取り組みとなりました。

沖縄という絶好の開催地を得て、東アジアばかりでなく世界各国から著名な speaker をお招きすることができました。招待講演、特別講演、シンポジウム、一般演題など多彩で充実したプログラムが構成され、東洋医学を志す先生方の格好の交流の場となり、実りの多い大会になると確信しております。

大会の開催時期は沖縄はすでに海開きを終えています。美海からそよぐ優しい風が皆様をお待ちしています。沖縄の地で先生方にお会いできるのを心待ちにしております。沖縄の地で先生方にお会いできるのを心待ちにしております。



第18回 ICOM 会頭 大野修嗣

実行委員長メッセージ

国際東洋医学会会員の皆様

第18回国際東洋医学会を沖縄の地で開催できることを喜んでおります。これもひとえに国際東洋医学会の理事の先生方、会員の先生方のおかげだと感謝しております。4月中旬の沖縄はまだ肌寒いと感じることもありますが海開きもすでに終え皆様の来沖の準備を整えております。今回の国際東洋医学会では医師のみならず薬剤師、鍼灸師、薬膳師そして学生と沖縄で東洋医学に携わる関係者が皆様を歓迎いたします。また沖縄は一大観光地です。この機会に沖縄の自然・文化・芸能の一端にでも触れていただければ幸いです。この学会で東洋医学を学び、国際交流を深めていただけることを期待しております。沖縄の地で皆様と語り合えることを楽しみにしております。多くの先生方の参加をお待ちしております。



第18回 ICOM 実行委員長 友利寛文

今大会のテーマは、「伝統医学と現代医学の統合」です。

第18回国際東洋医学会プログラム概要

4月15日(金) 14時~18時

日独漢方鍼灸シンポジウム

日本の伝統医学、生薬のレギュレーション、鍼灸理論を紹介し、ドイツからの関係者と討論を行います。

Welcome Party

那覇市内、国際通りの「とぅばらーま」で開催します。

4月16日(土) 午前

鍼灸シンポジウム

日本、台湾、韓国の灸治療の現状を紹介し、今後の臨床に生かすために各国の特徴を比較分析します。

招待講演(台北医科大学、顔焜榮先生)、教育講演3題、ポスター貼付、ランチョンセミナー

4月16日(土) 午後

薬学シンポジウム・薬学セッション(この企画のみ部分参加登録証5,000円を当日発行します)

伝統医学の処方の中に配合される生薬の役割を解析する試みを日、台湾、韓国、中国の研究者が紹介します。

また、生薬の名前と基原植物の違いに関する講演や、日本語での薬剤師向け漢方セミナーを開催します。

教育講演3題、一般講演3題、ポスターセッション、台湾セッション、Gala Party

4月17日(日) 午前

日本セッション

比較的新しい概念であるフレイユにおける漢方薬の役割と有用性について議論します。

会頭講演、招待講演2題、ランチョンセミナー

4月17日(日) 午後

医学系シンポジウム

臨床疫学と伝統医学、両者の特性を踏まえた臨床研究でなければ、伝統医学の真価を反映したエビデンスは構築できません。国内外でそれを指導している研究者が、そのための方法論と注意点について議論します。

特別講演(日本東洋医学会会長、佐藤弘先生)、招待講演1題、教育講演4題

詳しくは、ホームページにあるプログラムをご覧ください。

第18回国際東洋医学会学術大会(18th ICOM)

会期: 2016年4月15日(金)~17日(日)

会場: 沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)

会頭: 大野修嗣(大野クリニック)

参加費: 2016年1月31日までの登録で30,000円、それ以降35,000円で、その額の中にはウェルカムパーティー、懇親会費を含みます。学生はそれぞれの日付までの登録で5,000円、それ以降6,000円で、懇親会費等は含みません。

事務局: 〒901-0155 沖縄県那覇市金城1-12-17 コーポレートゲームズ株式会社内

TEL: 098-859-2580 / FAX: 098-859-2581

E-mail: 18thICOM@corporategames.jp

大会ホームページ: <http://www.icom-okinawa2016.com>

18th ICOM に参加される方に

参加を計画しておられる方に

参加申し込みは、インターネットで行います。公式ウェブサイトは下記の通りです。

<http://www.icom-okinawa2016.com>

右上の"Submission & Registration"のボタンから現れるページの左側のメニュー、"Registration Guidance"をクリックし、一番下の"REGISTRATION"のボタンから、"Registration Form"に必要な事項を入力して、登録して下さい。

もしご自分で申し込むのが面倒でしたら、有料で旅行会社の代行サービスもご利用になれます。ウェブサイトのメニューの左から5番目、"Accommodation"をクリックした後で出てくる"Accommodation Package"のページからリンクされている"M's Tour and Convention"社をご利用下さい。同社は航空券付きのホテルのパッケージツアーも企画しています。また、同ページからリンクされている沖縄ツーリストサービス社は、ホテルの予約も受け付けています。

一般演題としてのご発表を計画されていた方に

今回の大会では、一般演題はすべてポスターセッションで行われます。一般演題の登録は、すでに2015年11月末で締め切りました。どうしても発表されたいという方は、事務局までご相談ください。

2016年度の会費納入をお願いいたします

平素は国際東洋医学会にご高配たまわり、感謝申し上げます。

国際東洋医学会日本支部の会計年度は、1月～12月となっています。

昨年度は「桂枝茯苓丸（加薏苡仁）国際シンポジウム」を実施し、その抄録集と共に「年会費の振込み」についての御案内を差し上げました。本年度はこの第18回国際東洋医学会学術大会の成功に向けて、事務局をあげて全力を尽くしているところです。国際標準化機構（ISO）への中国からの攻勢を防ぐためにも、中国が関与してこない国際東洋医学会の役割が重要になってきており、今回の学術大会でも欧米に対する協力を得ることを目的とした企画を計画しています。

引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

※封筒内に振込用紙が入っております。

今回の振込用紙は今年度2016（平成28）年度分のものでございます。

年会費は、10,000円です（法人会員は2口2万円以上）。

同封の振込用紙にてお振込みくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、2015年度分のニューズレターの発送が遅れ、ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

ISOM Japan ニューズレター 2016 No.1
発行日 2016年1月18日
編集者 ニューズレター編集委員会
発行者 安井廣迪
発行所 国際東洋医学会日本支部 (ISOM Japan)

国際東洋医学会日本支部
名古屋市瑞穂区田辺通3-1
名古屋市立大学薬学部生薬学分野内
TEL&FAX 052-836-3416
Email: icom-japan@phar.nagoya-cu.ac.jp
ウェブサイト <http://isomjpn.umin.jp/>